

アブラナ科 アブラナ属

アブラナ (油菜)

Brassica rapa L.

自生環境

土手、畑地、道ばた など

原産地

ヨーロッパ

予想される被害

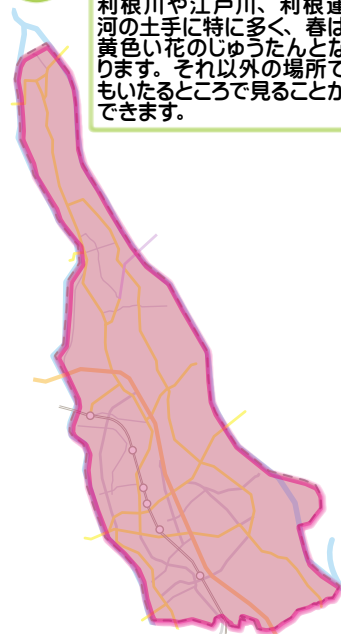
駆逐



春に黄色い花畑となり美しいのですが、ほかの植物の生育場所はなくなってしまいます。また根が堤防を弱くする原因になるとして防災上の問題も指摘されています。

市内の分布状況

利根川や江戸川、利根運河の土手に特に多く、春は黄色い花のじゅうたんとなります。それ以外の場所でもいたるところで見ることができます。



特徴

- ☆ アブラナ科アブラナ属に分類される植物のうち、黄色い花を咲かせるいくつかの種類をまとめて「菜の花」と言います。ヨーロッパ～ユーラシア大陸に広く分布するもので、古くから栽培され、世界じゅうでさまざまな品種が作りだされています。
- ☆ 菜の花の代表アブラナは、国内でも野菜として古くから栽培されています。栽培品種は星の数ほどあり、同じ種類とは思えないくらい姿かたちのバリエーションが豊かです。カブやノザワナ、ハクサイなどはアブラナ系の品種です。
- ☆ 土手などで野生化している「菜の花」は、冬に根が大きく膨らんでカブのようになります。春の開花結実に向けて養分を貯えたものですが、残念ながらかたくて食べられません。名前に油とあるとおりタネからは「菜種油」をとることができます。

土手の菜の花の正体は？

川の土手にたくさん生えている「菜の花」は、今までセイヨウアブラナとカラシナの2種類と考えられてきました。ところがこれまでセイヨウアブラナとされてきたものは、じつはそのほとんどがアブラナの誤認であることが判明しました。これは市内も同様です。つまり市内で見られる野生の菜の花、そのほとんどがアブラナかカラシナで、セイヨウアブラナは極めて少数ということになります。



わぴちゃんねる 千葉県野田市の植物を動画で紹介！

<https://www.youtube.com/channel/UCJvrXBjegnWATWd-UZsNzCA>

